長崎の宝物を世界と未来につなぐプロジェクト【世界遺産課】

世界遺産の文化財建造物の 保存修理や世界遺産の PRに関する取組を進めています

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成遺産の1つ、「黒島の集落(佐世保市)」のシンボルである黒島天主堂の耐震対策・保存修理の工事が平成30年度から始まり、費用(総額約5億円)の一部に、皆様からの寄付を活用しています。耐震補強のほか煉瓦の修理や外壁の塗替、屋根の修理などを行っており、令和3年3月に完成する予定です。

このほか、大阪で開催された旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン」で、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」のPRを実施したほか、ポスター・チラシ等の制作を行いました。世界に誇る長崎の宝物を、積極的にPRすることにより、より多くの人を誘客し、地域の活性化につなげていきます。





地域の将来を担い支える若者の人材育成プロジェクト 【若者定着課】【学事振興課】

地域の将来産業を担うリーダーとなる 人材の確保、定着を図るため、 若者の奨学金の返済を支援しています

大学等で学んだ専門知識を活かし、卒業後に製造業、建設業、情報サービス業、観光関連産業、保険業、金融業等の県内企業に、一定期間就業した若者に対して、産業界や民間のご協力をいただきながら、大学等に進学した際に借りた奨学金の返済を支援しています。

これまで、支援を希望する学生165名を支援候補者として認定しました。認定された支援候補者に対しては、県内企業の魅力や求人情報をお伝えし、県内就職に結びつくよう支援していきます。この事業により、将来の地域産業を担う優秀な若者の県内定着を促進し、県内企業の人材確保、企業活動の活性化へ繋げていきます。



県立大学は、産業界が求める 人材育成や県内の高校生に選ばれる 大学を目指した取組を進めています

平成28年4月、「主体的に考え、課題の発見力など社会人としての基礎力、社会人のグローバル化や情報化に対応する能力を持つ人材」の育成を目指し、3学部7学科から5学部9学科への学



部学科再編を行いました。令和元年度は、県内企業での長期インターンシップや企業の経営者による講義を実施し、学生が地場企業の実務等に触れることができました。その他、語学力向上のための授業や地域における経営実践、「しま」でのフィールドワーク等、企業・社会から求められる実践力と地域社会に対する責任感を育むための実学を重視した人材育成を進めています。また、県立大学佐世保校では、築後約50年が経過し老朽化した校舎の建替えに着手しています。学生の能動的学習を促すラーニングコモンズや外国語だけでコミュニケーションをとるグローバルエリア等を設置することとしており、令和元年度から本格的に建設工事に取り組んでおります。今後も「地域に開かれた魅力あるキャンパス」の実現に向けて事業を進めていきます。

日本の最西端ながさきが目指す国際展開プロジェクト 【水産加工流通課】【物産プランド推進課】

水産物の輸出拡大に向け、本県産 水産物のフェアや販促PRを行い ました

中国や香港、韓国などの東アジアを中心に、 米国や東南アジア等に対して、本県全の活発 魚や加工品等の輸出を行っており、へままで 度の輸出金額は約31億円となっていませで 年度は、更なる輸出拡大に向けて、現地での 展示商談会や量販店でのフェア、現ンテナナ のニープ等を活用した販売促進PR活動、の市場 のニープズに合う商品がくりを行うためのの市場 のニープズに合う商品がくりを行うための市場 のにないます。 の販路拡大と併せて、シンガが割といる事で 東南場の開拓に取り組みました。 東南場の開拓に取り組みました。 東南場の即名に取り組みました。 東南場の即名に取り組みました。 東南場の即名に取り組みました。 東南場の即名に取り組みました。 が産物のPRや販路開拓の取組を積極的に行 が、輸出拡大を進めていきます。



県産品のプランド化、認知度向上 を図るため、海外の百貨店等に おいて、県産品をPRしました。

県産品のブランド化及び販路拡大を図るため、民間企業と連携し、海外における総合フェアや飲食店プロモーションを実施することにより、県産品をはじめとした本県の魅力を総合的に発信しています。

令和元年度は、香港の百貨店において、長 崎フェアを初めて開催しました。

県産品(菓子類、県産酒、島原手延そうめん、蒲鉾、調味料など)のPR・販売などにより県産品のPRを行うとともに、本県の歴史・文化・観光の魅力を発信しました。このほか、中国、韓国の飲食店における県産品の食材フェア、香港の小売店での長崎フェア、中国の展示会への出品等、東アジア、東南アジアを中心に県産品のPRを実施しております。

